

図書室だより
きてぶらり
来ぶらり
らいぶらり

冬号

今金町民センター図書室
〒049-4308
瀬棚郡今金町字今金68
TEL&FAX 0137-82-2822
第32号 2021.12.17 発行



12月30日～1月5日までお休みです。来年もどうぞよろしくおねがいいたします。

2021年度 今金町民センター図書室利用案内

開室日	休室日
水・木曜日 13:00～20:00	月・火曜日
金曜日 13:00～17:00	年末年始
土・日曜日 9:00～17:00 (12:00～13:00は閉室)	※火～日曜日の閉室時の本の返却は1階事務室でも行えます。総合体育館入口の返却ポストもご利用ください。

■ 毎年好評！今年もやります！
お楽しみ本の福袋！！
毎年好評のお楽しみ本の福袋を今年も行います。新しい本との出会いになりますように、子ども向け、大人向けなどジャンルも豊富にご用意しています。ぜひ、足を運んでみてくださいね。
期日 令和4年1月6日(木) 13:00～
(なくなり次第終了)
場所 町民センター図書室
対象 どなたでもご利用可能！

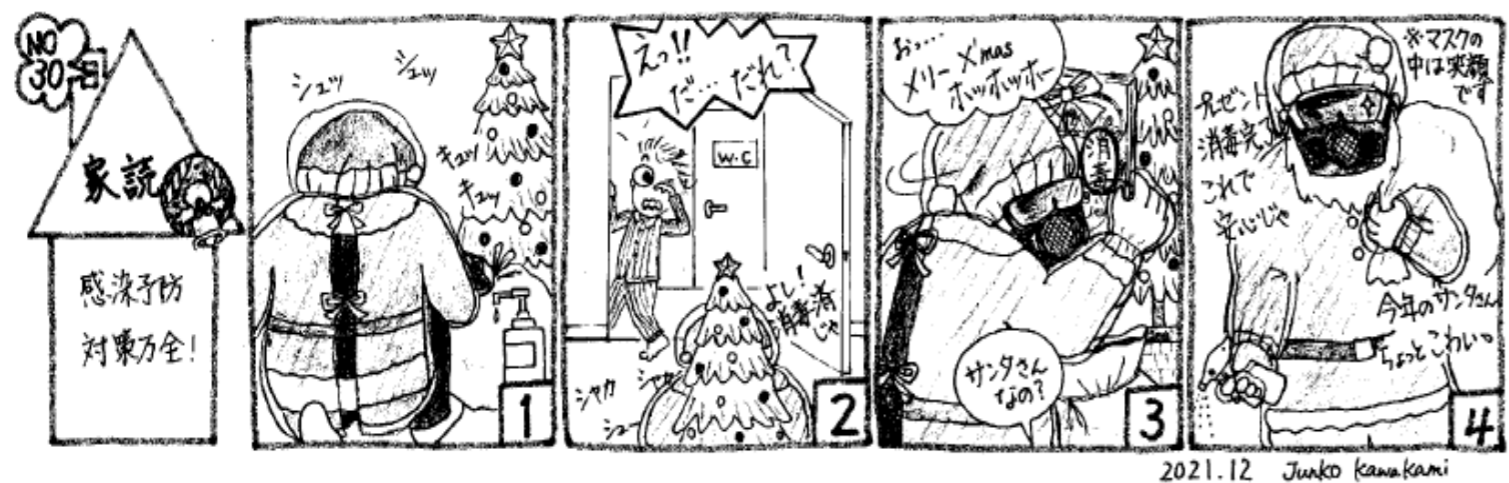


■ 移動図書館車ブックン 運行予定日
2月2日(水) / 3月2日(水)
※1月は運休します。
※日程が変更になる場合がありますので予めご了承ください。



らぴど文庫
新しい本がたくさん
入りました
冬の読書にぜひどうぞ

家読(うちどく)4コマまんが ※家読とは…家族で読書習慣を共有し絆を深める活動



今金町生涯学習情報誌
いまナビ
～学びの“今”をナビゲートする～ 第23号
令和三年十二月十七日

発行日:令和3年12月17日
発行:今金町教育委員会
編集:社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金48番地の1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年4回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。

■ エッセイ(作文)コンテストの表彰授与式が行われました

11月7日『今金っ子わくわくフェスティバル2021』の会場にて、エッセイコンテストの表彰授与式が行われました。今回のエッセイコンテストは『挑戦/チャレンジ/がんばりたいこと～今だからこそやってみよう!』を募集テーマとし、町内小中学生から一般まで313作品の応募がありました。

当日は表彰式その他、特別審査員の写真家・絵本作家の小寺卓矢氏より講評をいただき、最優秀作品は読書と作文のまちプロジェクトチームの委員による朗読が行われました。作品に合わせて撮っていただいた小寺氏の写真と、ハーブ奏者・更科理恵氏の奏でる音色に合わせた朗読に、作者の「挑戦」の思いがより一層参加者の心に届くひとときとなりました。

今後、最優秀作品は写真や音楽に合わせた朗読DVDとして作製する予定で、入賞作品は作品集としてまとめ、受賞者や町内社会教育施設に配布する予定です。(樋口)



各部門の受賞者(敬称略)

小学1年生の部	小学2年生の部	小学3・4年生の部
【最優秀賞】今金小学校1年 外山 ひまり	【最優秀賞】今金小学校2年 佐藤 美羽	【最優秀賞】今金小学校4年 日置 瑠斐
【優秀賞】今金小学校1年 砂金 錬助	【優秀賞】今金小学校2年 山崎 耀太	【優秀賞】今金小学校3年 佐藤 結希奈
【奨励賞】今金小学校1年 片山 紗良	【奨励賞】今金小学校2年 高橋 心花	【奨励賞】今金小学校4年 濱谷 望愛
【奨励賞】今金小学校1年 白岩 大河	【奨励賞】今金小学校2年 安藤 翠	【奨励賞】今金小学校3年 松本 悠
【特別賞】今金小学校1年 金子 美由	【特別賞】種川小学校2年 芳賀 円花	【特別賞】今金小学校4年 螺良 柚乃
小学5・6年生の部	中学生の部	一般の部
【最優秀賞】今金小学校5年 外山 ひより	【最優秀賞】今金中学校2年 鷲野 茉穂	【最優秀賞】水野 紀子
【優秀賞】今金小学校6年 金子 泰輔	【優秀賞】今金中学校2年 小笠原 京哉	【優秀賞】小池 重徳
【奨励賞】今金小学校6年 築地 結心	【奨励賞】今金中学校3年 上村 晃太	【奨励賞】unfreshman
【奨励賞】今金小学校5年 葛井 鉄生	【奨励賞】今金中学校1年 近藤 彩乃	【奨励賞】久保田 幸子
【特別賞】種川小学校5年 坂上 実乃俐	【特別賞】今金中学校3年 水野 志音	【特別賞】愛指令ランド、草かりたい

■ 今金町文化財保存活用地域計画推進フォーラムを開催しました

12月11日、今金町民センターを会場に標記フォーラムが開催され、町内外から約60名が参集しました。

町は今年度、文化庁補助事業で町の文化財の保存と活用に関わる計画を作成しています。その目的や意義について、初めに文化庁派遣アドバイザーの西山徳明氏（北海道大学教授）の基調講演があり、計画は多くの町民が大切に思う宝物を守り伝えていくために作るものとの説明がありました。次に、存在は知られていながら専門家による評価を聞く機会がなかった美利河砂金採掘跡と美利河マンガン鉱山について、それぞれ長沼孝氏（北海道埋蔵文化財センター理事長）と山田大隆氏（北海道産業遺産学会会長）から説明がありました。いずれも歴史的な背景やその規模等から、全国的に誇れる遺産であるとお話がありました。その後、マンガン鉱山や砂金採掘跡の活用方法についての具体的な活用案が示され、民間の住民組織との連携などについて意見が交わされました。



これまでの計画作成の取り組みや進捗状況については、下記のホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。また、この計画作成に関するご意見等ございましたら、教育委員会事務局宮本までお気軽にお寄せください。

サイトURL : https://www.town.imakane.lg.jp/edu/syakikyoiuku/cat238/post_211.html



(宮本)

コラム 勝負の分かれ目（その瞬間）

ながい あきら
教育委員会 永井 章 委員



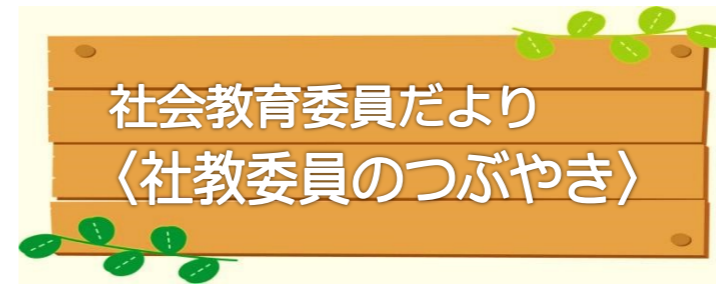
2020東京オリンピック・パラリンピックが終わり4か月たちました。みなさんはあの感動を覚えていますか？

2020年に向けて取り組んできた選手たちの目標が、新型コロナウイルスで1年延期になりました。そんな中でも、選手たちのすごさとすばらしさを感じました。また、継続して実力を発揮できた人とそうではなかった人、いろいろな人のそれぞれの瞬間を見て感じる事ができました。特に印象深かったのは、柔道女子の新井千鶴選手です。準決勝の延長戦で16分間戦い、最後にしめ技で一本勝ちしました。しかし相手選手は「参った」をせず、気を失うまで戦い続けました。このような国際大会で気を失うまで試合をする選手がいるなんて、本当にびっくりしました。この試合は、両者の「勝ちたい」という気持ちの戦いなんだと思いました。そしてそこがまさに「勝負の分かれ目」で、今回のオリンピックでは特にそれを多く感じました。



私たちはスポーツに限らず、いろいろな場面でこの勝負の分かれ目（瞬間）を経験します。そして、この分かれ目をのり切るためには、勝ちを信じて継続する力をつけることがとても大事だということを感じました。

そしてまた2か月後には冬季北京オリンピック・パラリンピックがやってきます。次の勝負の分かれ目（その瞬間）が見られるのを楽しみにしています。



社会教育委員によるコラムリレーを掲載しています！

<今金町社会教育委員会>

委員長 天沼 寧	副委員長 山崎 周一
委員 進藤 仁	委員 酒井 豊志
委員 苅屋 滋子	委員 久ヶ澤サユミ
委員 池田 誓哉	委員 村瀬 一人

日常（当たり前）に……



かりや しげこ
委員 苅屋 滋子(主婦)

新型コロナの流行により、これまでの日常生活を変えなければならないこととなりました。個人の行動が制限され、学校が全国で休校、恒例イベントの中止、食事は黙食などコロナ前ではありえないことです。好きな時に好きな所へ、会いたい時に会いに、おしゃべりしながらの食事等、これが自由で当たり前だったことは、幸せで有り難いことだったと改めて考えさせられます。

インターネットを使つての買い物、仕事はリモートワーク・会議、学校へ行かなくてもオンラインで授業を受けることができる、支払いはキャッシュレス等、どれも効率的でコロナ感染予防には大切なこと。しかし、パソコンもスマホもうまく使いこなせない昭和生まれの私にはちょっと寂しく感じます。この変化が当たり前の日常にも慣れていかなければ……。マスクの着用、3密を避ける、ソーシャルディスタンス、消毒がプラスされたことが、これからの日常（当たり前）になるのかな。

ワクチン接種、治療薬ができることで、行動制限が緩和、解除されることを期待したいです。



かえる場所



いけだ せいや
委員 池田 誓哉(住職)

10月30・31日と今金町総合文化祭の特別展として、今金町出身の高校生画家、藤倉朱里さんの個展「遊+more」が開催されました。昨年12月に明石家さんまさんの番組出演後たくさん反響があり、今年の夏には函館国際ホテルで初の個展の開催など、精力的に活動してきました。現在朱里さんは函館に移り住み、学業と作品づくりをしています。

私は昨年秋、さんまさんの番組への出演決定直後からサポートをさせてもらっています。今回は朱里さんごと両親に文化祭内での開催を打診させていただき、教育委員会の方々の御協力の元に開催されました。

当日は朱里さんのエネルギーが注ぎ込まれた作品の数々に、世代を超え2日間で約400名のご署名と約1,200名の多くのご来場をいただきました。今回特に印象的だったのは、地元のお子さんたちがキラキラした眼差しで朱里さんの作品を鑑賞していた姿でした。

その姿を見て、この町にずっと住む者として、今金町で育ったお子さんたちが出っ放しなのではなく、外でインプットしたものを、今金町でアウトプットできる場所、すなわち「かえる場所」を微力ながら作っていきたくて強く思えたご縁でした。

